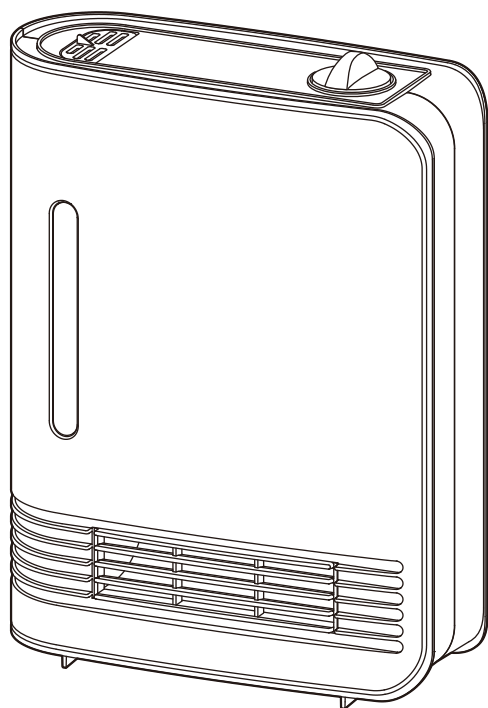


- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途で使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

加湿機能付き(スチーム式) セラミックファンヒーター HF-KC121



もくじ

■ 安全上の注意	1~4
■ 各部の名称	5
■ 設置について	6
■ 知っておいていただきたいこと	6
■ 使いかた	
● 電源プラグをコンセントに差し込む	7
● 運転する(温風運転)	7
● 運転する(温風運転+スチーム運転)	8
● 使用後は	9
● 安全装置について	9
■ お手入れと保管	10~11
■ 仕様	12
■ 故障かな?と思ったら	12
■ 点検のお願い	13
■ アフターサービスについて	13
■ MEMO	14
■ 保証書	裏表紙

この製品は、海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社セラミックファンヒーターをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
- 使用する前に、この取扱説明書を必ずよく読み正しく安全に使用してください。
- 読んだあとは、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ
YAMAZEN BOOKを
チェック!



随時情報を更新中!

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。



①記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。



警告

■ 電源コード・電源プラグについて



指示にしたがう

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

●発熱・感電・火災の原因になります。



指示にしたがう

定期的に電源プラグのホコリをふき取る

●電源プラグにホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、ショート・感電・火災の原因になります。

◎電源プラグのホコリは、乾いたふきんでふき取る。



指示にしたがう

破損、故障、異臭、異常、水漏れがあるときは、直ちに使用を中止する

●やけど・感電・火災の原因になります。
※異常・故障例

13ページの「点検のお願い こんな症状はありませんか?」を参照し、異常があるときは、直ちにご使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。



禁止

電源コードの上に重いものや本体をのせたり、挟み込まない

●ショート・感電・火災の原因になります。



指示にしたがう

交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

●交流100V以外での使用、または延長コードやタコ足配線などで使用すると感電やコンセントが異常発熱して、火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んでいたり、差し込みがゆるいときは、使用しない

●ショート・感電・火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグを傷付けたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近付けたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねて使用しない

●ショート・感電・火災の原因になります。
◎結束バンドを必ず外し、電源コードを必ずのばして使用する。



プラグを抜く

使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

●感電・漏電火災の原因になります。

警告

■ 設置について

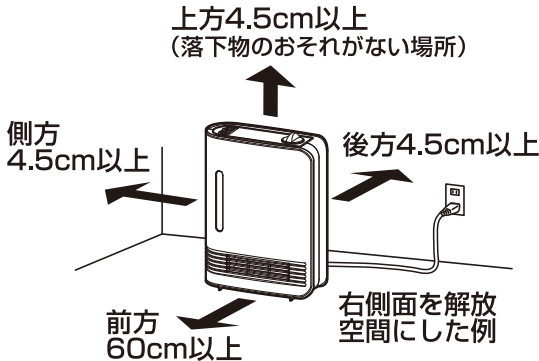


壁や家具から離して設置する

- 火災の原因になります。
- ◎下記の距離を離して設置する。

指示にしたがう

消防法による設置基準



※左右側のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にしてください。

- ◎壁や家具に温風を直接あてない。



周囲が囲まれた場所に設置しない

- 変形・やけど・火災の原因になります。



布団、カーテン、新聞紙などの燃えやすいもの、熱に弱いものが周辺にある場所に設置しない

- 火災の原因になります。

- ◎布団、カーテン、新聞紙などの燃えやすいもの、熱に弱いものに温風を直接あてない。



製品に水がかかる場所、水にぬれた場所、湿気が多い場所に設置しない

水ぬれ禁止

- ショート・感電・火災の原因になります。



屋外に設置しない

- ショート・感電・火災の原因になります。



電気製品や精密機器（パソコンなど）の近くに設置しない

- 電気製品が加湿によって湿気をおびて、故障・感電・火災の原因になります。



可燃性ガスや引火性のもの（ガソリンやシンナーなど）がある場所に設置しない

- 爆発・火災の原因になります。



不安定な場所や毛足の長い敷物の上に設置しない

禁止

- 落下や転倒して熱湯がこぼれたり、やけど・感電・火災の原因になります。
- ◎安定した水平な場所で使用する。



本体の近くにスプレー缶（ヘアスプレーや殺虫剤など）を置かない

禁止

- 爆発・火災の原因になります。

■ 使用について



分解禁止

分解、修理、改造をしない

- やけど・感電・火災の原因になります。
- ※修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

すき間、温風吹出口、スチーム吹出口、吸気口に針金などの金属物や異物を入れない

- ショート・感電・火災の原因になります。



指示にしたがう

必ず吸気フィルターと、フィルターカバーを取り付けて使用する

- ホコリが内部に吸い込まれ、故障・火災の原因になります。



禁止

お子様や取り扱いに不慣れな方だけで使用しない 乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない

- やけど・感電の原因になります。
- ◎お子様が本製品で遊ばないように注意する。



禁止

乾燥など他の用途に使用しない

- 火災の原因になります。








禁止

温風吹出口、スチーム吹出口、吸気口をふさがない








- 変形・故障・感電・火災の原因になります。

警告

■ 使用について つづき

 <p>本体に衣類や布団などをかぶせて使用しない</p> <ul style="list-style-type: none">●変形・故障・火災の原因になります。 <p>禁止</p>	 <p>水位表示の「満水」以上給水しない</p> <ul style="list-style-type: none">●排水口から水が漏れたり、スチーム吹出口から熱湯が飛び散るなどして、やけどの原因になります。 <p>禁止</p>
 <p>長時間同じ場所を暖めない</p> <ul style="list-style-type: none">●低温やけどの原因になります。◎皮膚の弱い方は、とくに注意する。 <p>禁止</p>	 <p>使用中や使用後しばらくは、温風吹出口やスチーム吹出口に手や顔を近付けたり、触れない</p> <ul style="list-style-type: none">●高温のため、やけどの原因になります。◎とくに乳幼児には、触らせないように注意する。 <p>接触禁止</p>
 <p>就寝中は、使用しない</p> <ul style="list-style-type: none">●火災の原因になります。 <p>禁止</p>	

■ お手入れ・保管について

 <p>本体を持ち運ぶときやお手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、十分冷めてからおこなう</p> <ul style="list-style-type: none">●熱湯がこぼれたり、高温部に触れて、やけど・感電の原因になります。◎十分冷めるまで、本体を動かさない。◎電源プラグを抜くときは、電源を切ってから抜く。 <p>プラグを抜く</p>	 <p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <ul style="list-style-type: none">●ショート・感電の原因になります。 <p>ぬれ手禁止</p>
 <p>水タンクのお手入れに薬品、塩素系、酸性タイプの洗浄剤を使用しない</p> <ul style="list-style-type: none">●有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。 <p>禁止</p>	 <p>本体を水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない</p> <ul style="list-style-type: none">●ショート・感電・火災の原因になります。 <p>水ぬれ禁止</p>
	 <p>排水するときは、電源プラグをコンセントから抜き、十分冷めてからおこなう</p> <ul style="list-style-type: none">●やけど・ショート・火災の原因になります。 <p>指示にしたがう</p>
 <p>包装用ポリ袋は、お子様の手の届かない場所に保管する</p> <ul style="list-style-type: none">●誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして、窒息する原因になります。 <p>指示にしたがう</p>	 <p>吸気フィルターのお手入れは、定期的におこなう</p> <ul style="list-style-type: none">●故障・火災の原因になります。◎お手入れをおこなわずに使用をつづけると、吸気フィルターに付着したホコリが内部に吸い込まれ、火災の原因になるため1週間に1回程度は、お手入れをする。 <p>指示にしたがう</p>

注意

■ 電源コード・電源プラグについて

 <p>電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない</p> <ul style="list-style-type: none">●ショート・感電・火災の原因になります。◎必ず電源プラグを持って引き抜く。 <p>禁止</p>	 <p>電源コードを持って本体を引っ張らない</p> <ul style="list-style-type: none">●設置場所が傷付いたり、ショート・感電・火災の原因になります。 <p>禁止</p>
--	--

⚠ 注意

■ 設置について



禁止

厨房や工場など油、油煙、金属粉が発生する場所やホコリの多い場所に設置しない

●変質・変形・感電・火災の原因になります。



禁止

直射日光が当たる場所、火気や熱源(コンロや他の暖房器具など)の近くや上に設置しない

●変質・変形・感電・火災の原因になります。

■ 使用について



禁止

業務用には使用しない
(本製品は、一般家庭用)

●本製品に無理な負担がかかり、破損・故障・火災の原因になります。



禁止

転倒OFFスイッチをテープなどで固定して使用しない

●火災の原因になります。



禁止

水タンクにお湯(40℃以上)、氷水、汚れた水、化学薬品、芳香剤、アロマオイルを入れて使用しない

●健康を害したり、破損・故障・ふきこぼれの原因になります。

◎必ず水道水を使用する。



禁止

水タンクに水が入っていない状態で加湿機能(スチーム運転)を使用しない

●故障・火災の原因になります。



指示にしたがう

水タンクの水は、毎日新しく入れ替える

●カビや雑菌が繁殖して異臭がしたり、健康を害する原因になります。



禁止

落としたり強い衝撃を与えない

●破損・故障・けがの原因になります。



指示にしたがう

はじめて使用するときは、十分換気をする

●はじめて使用するときは、においや煙が出ることがありますが、故障や異常ではありません。

※使用にともない出なくなりますが、気になるときは、十分換気をおこなってください。



指示にしたがう

犬や猫などがいる部屋で使用するときは、十分注意する

●製品や電源コードを傷め、故障・感電・火災の原因になります。

◎犬や猫などの暖房に使用しない。



禁止

加湿機能(スチーム運転)を室内の加湿用途以外に使用しない

●故障・感電・火災の原因になります。



指示にしたがう

持ち運ぶときは、取っ手を持って本体底部を支える

●破損・故障・けがの原因になります。



指示にしたがう

使用しないときや凍結のおそれがあるときは、水タンクの水を排水しておく

●カビや雑菌が繁殖して異臭がしたり、水タンクが割れて、水漏れや故障の原因になります。

■ お手入れ・保管について



禁止

吸気フィルターを熱湯で洗ったり、直火にあてて乾かさない

●変形・変質・火が燃えうつる原因になります。



禁止

掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを吹き付けない

●変色・変質・破損の原因になります。



禁止

本体に腰かけたり、重いものをのせない

●変形・破損・故障の原因になります。



禁止

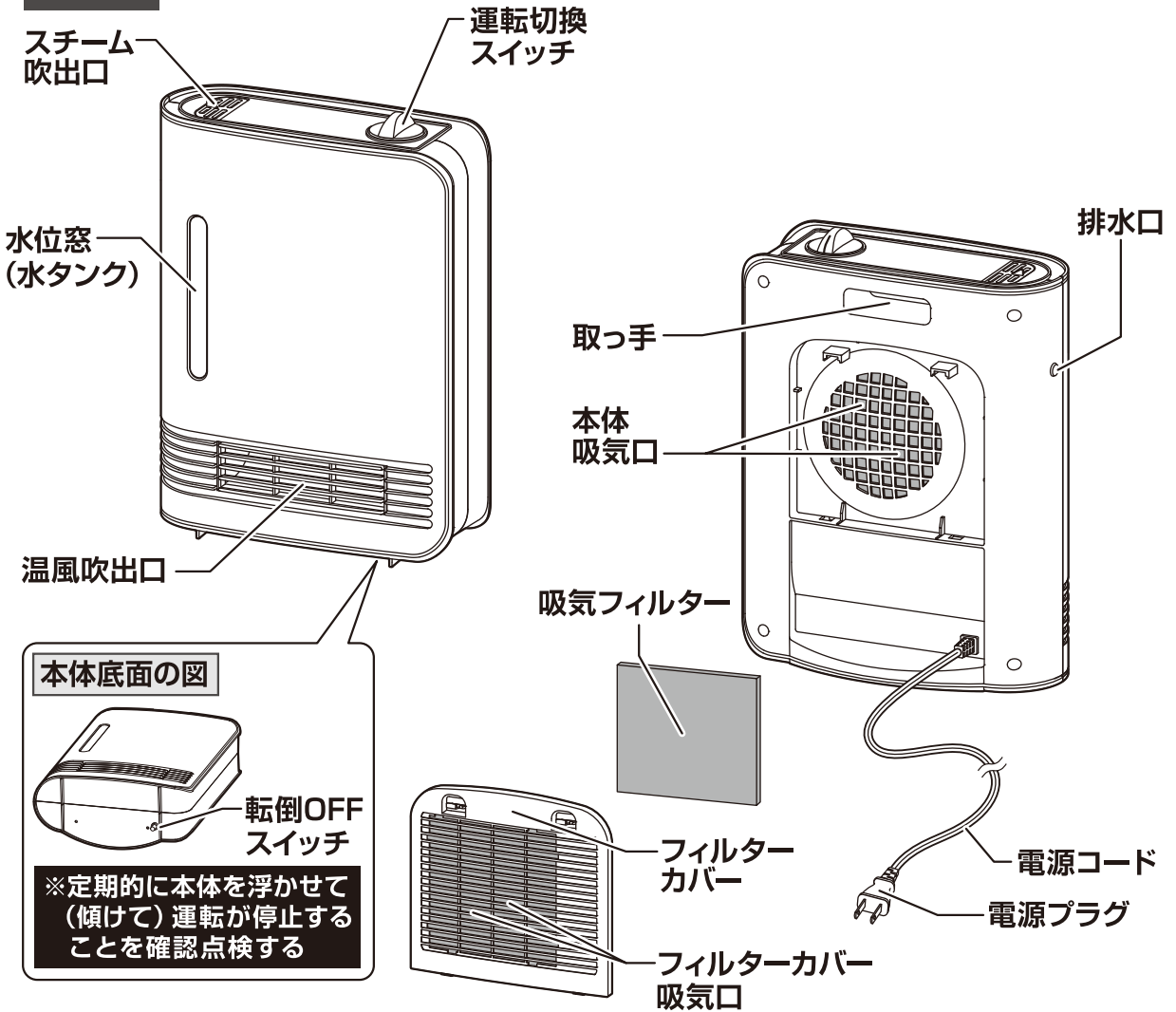
お手入れにはシンナー、ベンジン、みがき粉、たわし、化学ぞうきんなどは使用しない

●変色・変質・破損の原因になります。

◎お手入れは10~11ページの「お手入れと保管」を参照する。

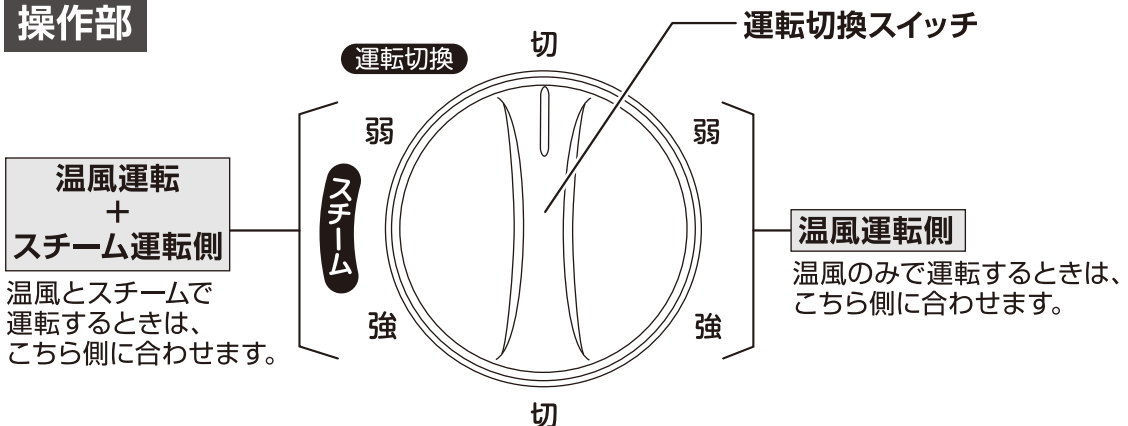
各部の名称

本体



- 本書は、イラストを用いて説明しています。実際の製品とは、多少異なることがあります。

操作部



設置について

下記の距離を離して設置します。

警告

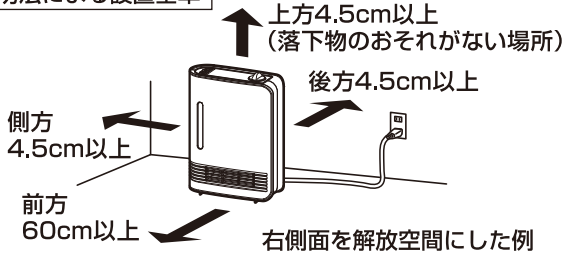


壁や家具から離して設置する

●火災の原因になります。

指示にしたがう

消防法による設置基準



※左右側のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にしてください。



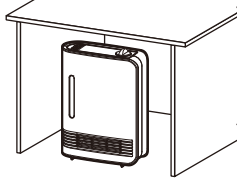
不安定な場所や毛足の長い敷物の上に設置しない

禁止

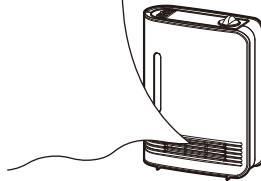
●落下や転倒して熱湯がこぼれたり、やけど・感電・火災の原因になります。

◎安定した水平な場所で使用する。

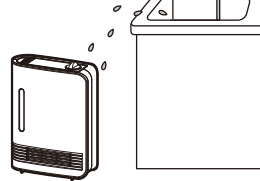
こんな場所には設置しない



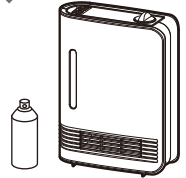
周囲が囲まれて風通しが悪い場所



布団、カーテン、新聞紙などの燃えやすいものが周辺にある場所



水や蒸気がかかる場所や湿気の多い場所



可燃性ガスや引火性のものがある場所やスプレー缶の近く

◎壁や家具に温風を直接あてない。

◎布団、カーテン、新聞紙などの燃えやすいもの、熱に弱いものに温風を直接あてない。

知っておいていただきたいこと

においや煙について

- はじめて使用するときは、においや煙が出ることがありますが、故障や異常ではありません。
※においや煙は、使用にともない出なくなりますが、気になるときは換気扇を回したり、窓を開けるなどして十分換気をおこなってください。

電源コードについて

- 使用中電源コードが多少暖かくなることがありますが支障ありません。

使いかた

電源プラグをコンセントに差し込む

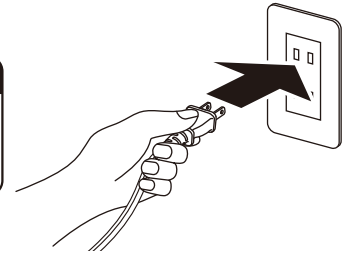
- 電源プラグを根元まで確実に、コンセントに差し込みます。

⚠ 警告



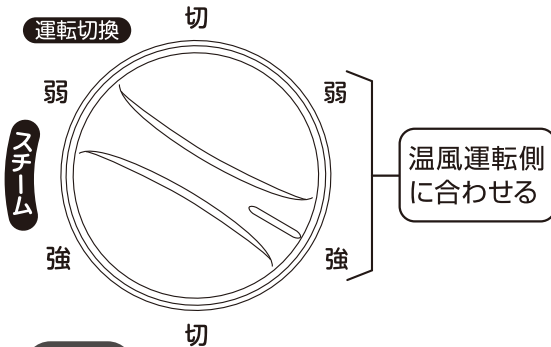
交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

- 交流100V以外での使用、または延長コードやタコ足配線などで使用すると感電やコンセントが異常発熱して、火災の原因になります。



運転する（温風運転）

温風運転するときは



- 運転切換スイッチを温風運転側の「弱」または「強」のいずれかに合わせると、温風運転をおこないます。

火災の原因になるので、絶対に就寝中は、使用しない

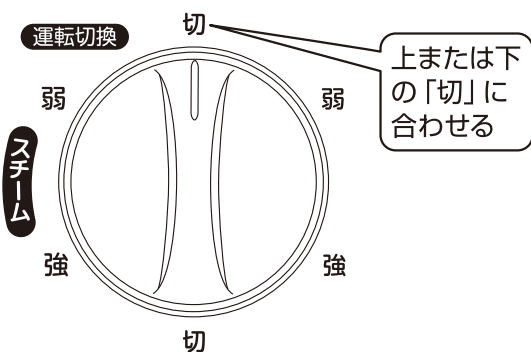
注意

※温風のみで運転するとき（スチーム運転しないとき）は、安全のため運転切換スイッチを必ず温風運転側に合わせてください。故障・火災の原因になります。

お知らせ

- 弱と強は、ヒーターの発熱量を切り換えるもので、温風の強さはわかりません。
- 弱はヒーターの発熱していない部分も風が通過するので、温風吹出口付近では温風が部分的に冷たく感じる場合があります。

温風運転を停止する（電源を切る）ときは



- 運転切換スイッチを上または下の「切」に合わせます。
- 温風運転が停止して、電源が切れます。

使いかた

運転する（温風運転 + スチーム運転）

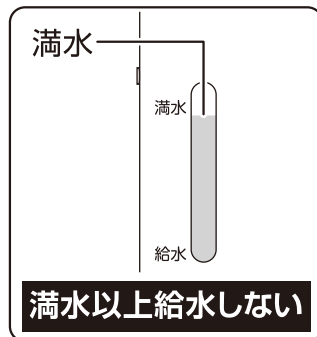
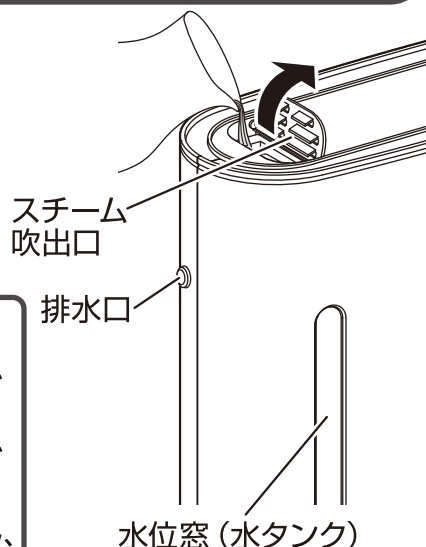
水タンクに給水する

- 運転切換スイッチが「切」になっているのを確認します。
- 注ぎ口のある容器に水を入れ、スチーム吹出口を開けて給水します。
- 給水後にスチーム吹出口を閉めます。

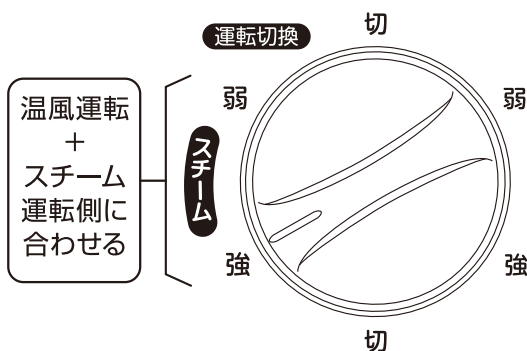
注意

- ※ 給水するときは、少しずつ水を注いでください。一度にたくさん水を注ぐと表面張力により、水が注ぎにくいことがあります。水が注ぎにくいときは、本体を軽くゆすると、注ぎやすくなります。
- ※ 運転中に給水するときは、運転切換スイッチを「切」にし、十分冷めてからおこなってください。運転しながら給水すると、やけどの原因になります。
- ※ 給水後は、必ずスチーム吹出口を閉めてください。開けたままスチーム運転をすると熱湯が飛び散り、やけどの原因になります。

水タンクに水が入っていない状態で、絶対にスチーム運転しない



温風運転 + スチーム運転するとき



- 運転切換スイッチを温風運転+スチーム運転側の「弱」または「強」のいずれかに合わせると、温風運転+スチーム運転をおこないます。

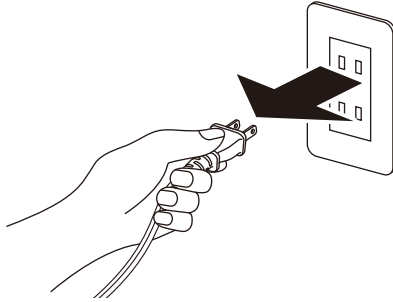
スチーム運転についてのお知らせ

- この加湿機能は、ヒーターで水を加熱して沸騰させたスチームで加湿するため、スチームが発生するまでに多少の時間がかかります。また運転中は沸騰音がしますが、故障や異常ではありません。
- 室温が高かったり、湿度が低いなどの使用環境によっては、スチームが空気中に気化しやすくなるなどで、使い始めや運転中にスチームが見えにくいことがあります。
- この加湿機能は、補助的なもので部屋全体を加湿するためのものではありません。

使いかた

使用後は

- 運転切換スイッチを「切」にします。
- 電源プラグをコンセントから抜きます。
- 十分冷めてから、水タンクの水を排水します。



電源プラグを
コンセントから抜く

水が凍結するおそれがあるときは

- 水が凍結するおそれがあるときは、水タンクの水を排水しておきます。
万一凍結したときは、暖房器具や熱湯で溶かしたりしないで、常温で自然に溶かします。

安全装置について

転倒OFFスイッチについて

- 運転中に本体が転倒したときの安全装置として、転倒OFFスイッチが付いています。
 - 転倒OFFスイッチが働くと、電源が切れます。
※転倒したときは、必ず運転切換スイッチを「切」にしてください。
 - 再度運転をするときは、本体を安定した水平な場所に立ててから運転します。

お願い

※定期的に本体を浮かせて（傾けて）運転が停止することを確認点検してください。
（転倒OFFスイッチの動作確認）

温度過昇防止装置について

- 温風吹出口周辺の温度が異常に高くなると、安全のため温度過昇防止装置が働き、全ての通電を遮断します。

温度過昇防止装置が働く原因

- 他の暖房器具を近くで使用している。 ○吸気フィルターがホコリなどで目詰まりしている。
- 吸気口や温風吹出口がふさがれている。 ○周囲が囲まれた場所で使用している。
- 温度過昇防止装置が働いたときは、電源プラグを抜き十分冷ましてから、上記のような原因がないか点検し、吸気フィルターをお手入れしたり、吸気口や温風吹出口をふさいでいるものを取り除くなどの処置をして運転を再開します。

お手入れと保管

吸気口や吸気フィルターがホコリなどで目詰まりすると、暖房性能低下や火災の原因になります。

※こまめにフィルターカバーを取り外し、お手入れをしてください。

※お手入れをするときは、けがを防止するためゴム手袋を着用してください。

⚠ 警告



本体を持ち運ぶときやお手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、十分冷めてからおこなう

プラグを抜く

●熱湯がこぼれたり、高温部に触れて、やけど・感電の原因になります。

◎十分冷めるまで、本体を動かさない。

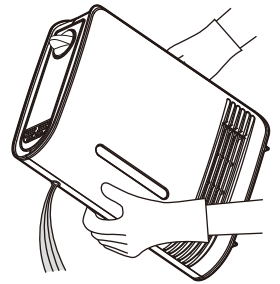
◎電源プラグを抜くときは、電源を切ってから抜く。

必ずお守りください

※お手入れをするときは、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜いて、十分冷めてからおこなってください。

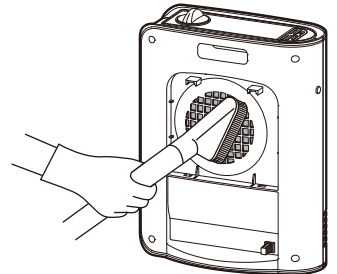
本体、本体吸気口（本体吸気口は1週間に1回程度） 丸洗いできません

- スチーム運転を使用したときは、水タンクの水を排水口から排水します。
- フィルターカバーを取り外します。
- 掃除機のソフトブラシで、ホコリを吸い取ります。
- 乾いた柔らかいふきんで、ホコリや汚れをふき取ります。
- 落ちにくいホコリや汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取り、さらに乾いた柔らかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。



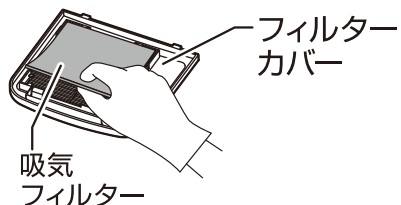
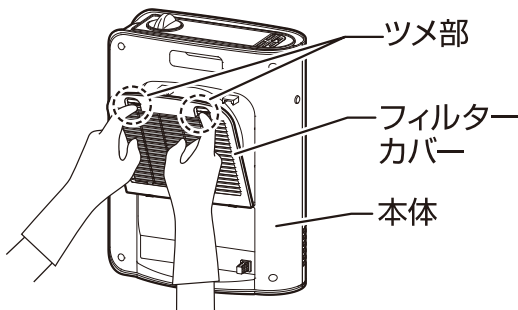
お知らせ

- 長期間の使用により、温風吹出口周辺の色が変色することがありますが、性能や安全性に問題はありません。



フィルターカバー、吸気フィルターの取り外し

- フィルターカバーのツメを下に押しながら、手前に引いて取り外します。
 - フィルターカバーから、吸気フィルターを取り外します。
- ※お手入れ後は、必ず吸気フィルターと、フィルターカバーを元どおりに取り付けてください。
- ※本体にフィルターカバーを取り付けたあと、ツメ部を押して確実にはめ込んでください。

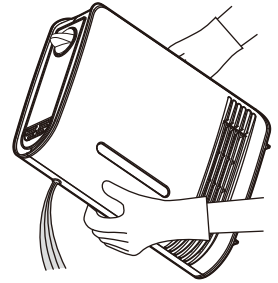


お手入れと保管

水タンク (1週間に1回程度)

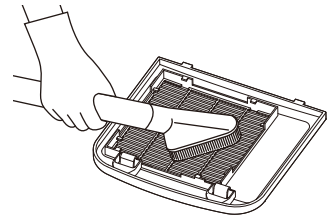
丸洗いできません

- 水タンクに水が残っているときは、排水口から排水します。
- 水タンクに水位窓の1/3程度まで水を注いでゆすぎ洗いをして、排水口から排水します。
(2~3回繰り返します)



フィルターカバー、フィルターカバー吸気口 (1週間に1回程度) 丸洗いできます

- 掃除機のソフトブラシで、ホコリを吸い取ります。
- 乾いた柔らかいふきんで、ホコリや汚れをふき取ります。
- 落ちにくいホコリや汚れは、食器用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いた柔らかいふきんで水分をふき取り、よく乾燥させます。



吸気フィルター (1週間に1回程度)

丸洗いできます

- 掃除機のソフトブラシで、ホコリを吸い取ります。
- 落ちにくいホコリや汚れは、薄めた食器用中性洗剤に吸気フィルターを浸して、軽くもみ洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、よく乾燥させます。



警告



指示にしたがう

吸気フィルターのお手入れは、定期的におこなう

- 故障・火災の原因になります。
- ◎ お手入れをおこなわずに使用をつけると、吸気フィルターに付着したホコリが内部に吸い込まれ、火災の原因になるため1週間に1回程度は、お手入れをする。

保管

- 保管の前は、必ずお手入れをします。
- お手入れ後は、よく乾燥させてから包装ケースに納めるか、ポリ袋をかぶせ直射日光や湿気を避けて保管します。
(湿ったまま保管すると、カビの発生、異臭、故障の原因になります)

注意

※ 電源コードの根元を曲げたり、電源コードや電源プラグに力が加わるような状態で、保管しないでください。
異常発熱・ショート・火災の原因になります。

仕 様

電 源	AC 100V (50/60Hz)
消 費 電 力	1190/1140W (スチーム使用時 1220/1170W)
製 品 寸 法(約)	幅:280mm×奥行:130mm×高さ:375mm
製 品 質 量(約)	2.8kg
コ ー ド 長(約)	1.6m
スチーム発生装置	加熱式(消費電力:30W) 水タンク容量:約730mL(満水位置まで)
安 全 装 置	転倒OFFスイッチ、温度ヒューズ、電流ヒューズ、 サーモスタット(温度過昇防止装置)

●製品の仕様や外観などは、改善などのため予告なく変更することがあります。

■ 電気代について

- 50Hz { 弱運転時 (620W) : 1時間あたり 約16.7円 (スチーム使用時:約17.6円)
強運転時 (1190W) : 1時間あたり 約32.1円 (スチーム使用時:約33円)
- 60Hz { 弱運転時 (600W) : 1時間あたり 約16.2円 (スチーム使用時:約17円)
強運転時 (1140W) : 1時間あたり 約31円 (スチーム使用時:約32円)

(電気代は、電気料金目安単価 27円/kWhを基に算出しています)

故障かな?と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症 状	原 因	処置 または お知らせ
運転しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか?	●電源プラグを根元まで確実に、コンセントに差し込んでください。
温風の出かたが 少ない	●吸気口や吸気フィルターがホコリなどで目詰まりしていませんか?	●10~11ページの「お手入れと保管」を参照し、お手入れをしてください。
スチームが出ない	●水タンクに水が入っていない状態ではありませんか?	●電源を切り電源プラグを抜いて、十分冷めてから水タンクに給水してください。
	●運転切換スイッチを温風運転側に合わせていませんか?	●運転切換スイッチを温風運転+スチーム運転側に合わせてください。
運転中に 電源が切れる	●転倒OFFスイッチが働いていませんか?	●運転中に本体が大きく傾いたり転倒すると、転倒OFFスイッチが働いて電源が切れます。 転倒したときは、必ず運転切換スイッチを「切」にしてください。 再度運転をするときは、本体を安定した水平な場所に立ててから運転してください。
運転が停止する	●他の暖房器具を近くで使用していたり、吸気フィルターが目詰まりしていたり、吸気口や温風吹出口がふさがれていた、周囲が囲まれた場所で使用するなどして、温度過昇防止装置が働いていませんか?	●9ページの「温度過昇防止装置について」を参照し、電源プラグを抜き十分冷ましてから、温度過昇防止装置が働く原因がないか点検し、吸気フィルターをお手入れしたり、吸気口や温風吹出口をふさいでいるものを取り除くなどの処置をして運転を再開します。

点検のお願い

安全に長く愛用していただくために
日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか？

- 電源プラグや電源コードが異常に熱い。
- 電源プラグや電源コードに深い傷がある。
- 電源プラグが変形している。
- 電源コードを動かすと電源が入ったり、入らなかったりする。
- 水漏れする。
- 変形や破損している。
- 異常な音がする。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- こげ臭いにおいがしたり、煙が出る。
- その他の故障・破損・異常がある。

- 電源プラグやコンセントにホコリやごみが付着している。

★異常があれば

使用中止 !!

故障や事故防止のため、
電源プラグをコンセント
から抜いて、必ず販売店
に点検・修理を依頼して
ください。

ホコリやごみを取り除いて
ください。

アフターサービスについて

●本製品は、保証書が付いています。

お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の
「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入を
受けてください。

●保証期間は、お買い上げ日より1年です。

保証期間中の修理は、お買い上げの販売店に
依頼してください。

保証書の記載内容により、修理いたします。
その他詳細は、保証書を参照してください。

●保証期間経過後の修理（有料）については、 お買い上げの販売店に、依頼してください。

●本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造 打ち切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を
維持するために、必要な部品です。

●サービスパーツについて

吸気フィルターなどのサービスパーツにつ
いては、お買い上げの販売店に、お問い合わせ
ください。

■ 使いかたやお手入れなどのお問い合わせは下記へ

本製品についての取り扱いや、お手入れ
方法のお問い合わせ、転居されたり贈答品
などで、販売店に修理の依頼ができない
場合は、下記へお問い合わせください。

「山善 家電お客様サービス係」

ナビダイヤル  0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からは、利用できません。
受付時間：10：00～17：00（土、日、祝日を除く）

FAXまたはEメールでのお問い合わせも
受け付けています。
その際は、製品名、品番、お問い合わせ
内容、お名前、電話番号を記入のうえ、
お問い合わせください。

●FAXでの  0120-680-287

●Eメールでの info_m@yamazen.co.jp

個人情報の取り扱いについて

株式会社 山善およびその関係会社は、
お客様の個人情報やお問い合わせ
内容をお問い合わせへの対応や
修理、その確認などのために利用し、
その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理
業務などを委託する場合や正当な
理由がある場合を除き、第三者には
提供しません。

※お問い合わせのときは、保証書に記載の製品名、品番をお知らせください。

S-220607

